

|          |  |   |       |      |                       |      |     |
|----------|--|---|-------|------|-----------------------|------|-----|
| 科目区分     | 専門基礎分野   |   |       | 科目番号 | 0301                  | 曜日時間 | 月曜日 |
| 授業科目     | 解剖生理学 I  |   |       |      |                       |      |     |
| 単位数      | 1 単位   | 時間  | 30 時間 | 開講時期 | 1年次前期                 | 授業形態 | 講義  |
| 担当教員     | 菱川 善隆 ・ 専任教員   |   |       |      |                       |      |     |
| 授業目的     | 「動く」「活動する」「話す・聞く」「眠る」ための人体の正常な形態と構造、およびそれぞれの役割とはたらきについて学ぶ。   |   |       |      |                       |      |     |
| 授業目標     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体を構成する細胞、組織、器官のしくみを知り、人間がもっている生命維持機能についての概要が分かる。</li> <li>2. 日常生活行動の「動く」「活動する」「眠る」を司る臓器の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。</li> <li>3. 日常生活行動と内部環境のすべてを統合支配する脳の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。</li> <li>4. 日常生活行動の「話す・聞く」情報として感覚を司る器官の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。</li> </ol> |   |       |      |                       |      |     |
| 授業の内容と方法 | 回  | 授業内容  | 授業方法  | 時間   | 担当                    | 備考   |     |
|          | 15   | <p>人体の構造と機能とは何か<br/>解剖生理学の基礎知識</p> <p>A 人体とは？<br/>B 人体の素材である細胞・組織<br/>C 構造とはたらきからみた人体</p> <p>「動く」の機能（からだの支持と運動）</p> <p>A 骨格とはどのようなものか<br/>B 骨の連結<br/>C 骨格筋<br/>D 体幹の骨格と筋<br/>E 上肢の骨格と筋<br/>F 下肢の骨格と筋<br/>G 頭頸部の骨格と筋 H 筋の収縮</p> <p>「活動する」「話す・聞く」「眠る」の機能（情報の受容と処理）</p> <p>A 神経系の構造とはたらき<br/>B 脊髄と脳<br/>C 脊髄神経と脳神経<br/>D 脳の高次機能<br/>E 運動と下行伝導路<br/>F 感覚と上行伝導路<br/>G 眼の構造と視覚<br/>H 耳の構造と聴覚・平衡覚<br/>I 味覚と嗅覚と疼痛（痛み）</p> | 講義    | 30   | 菱川<br>善隆<br>・<br>専任教員 |      |     |
| 終了後課題    |  |   |       |      |                       |      |     |
| 評価計画方法   | 筆記試験・授業態度  |   |       |      |                       |      |     |
| テキスト参考図書 | 坂井 建雄ほか：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学【電子版】，医学書院<br>坂井 建雄ほか：解剖生理学ワークブック「系統看護学講座」準拠<br>佐藤達夫著：からだの地図帳，講談社  |   |       |      |                       |      |     |
| 実務歴有     | 医師   |   |       |      |                       |      |     |
| 講義への反映   | 臨床経験を活かし、解剖学を教授する。   |   |       |      |                       |      |     |
| 備考       | 基礎看護技術 I ・ II と連動させ学習する。（活動と休息・コミュニケーション・動く・）  |   |       |      |                       |      |     |